

ヨハネの福音書 6章 24-40節、箴言 3章 5-6節

信仰によって歩む

6:24 群衆は、イエスがそこにおられず、弟子たちもいないことを知ると、自分たちもその小舟に乗り込んで、イエスを捜してカペナウムに来た。

6:25 そして湖の向こう側でイエスを見つけたとき、彼らはイエスに言った。「先生。いつここにおいでになりましたか。」

6:26 イエスは答えて言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。あなたがたがわたしを捜しているのは、しるしを見たからではなく、パンを食べて満腹したからです。6:27 なくなる食物のためではなく、いつまでも保ち、永遠のいのちに至る食物のために働きなさい。

それこそ、人の子があなたがたに与えるものです。この人の子を父すなわち神が認証されたからです。」

6:28 すると彼らはイエスに言った。「私たちは、神のわざを行うために、何をすべきでしょうか。」

6:29 イエスは答えて言われた。「あなたがたが、神が遣わした者を信じること、それが神のわざです。」

6:30 そこで彼らはイエスに言った。「それでは、私たちが見てあなたを信じるために、しるしとして何をしてくださいますか。どのようなことをなさいますか。」

6:31 私たちの父祖たちは荒野でマナを食べました。『彼は彼らに天からパンを与えて食べさせた』と書いてあるとおりです。」

6:32 イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。モーセはあなたがたに天からのパンを与えたものではありません。しかし、わたしの父は、あなたがたに天からまことのパンをお与えになります。

6:33 というのは、神のパンは、天から下って来て、世にいのちを与えるものだからです。」

6:34 そこで彼らはイエスに言った。「主よ。いつもそのパンを私たちにお与えください。」

6:35 イエスは言われた。「わたしがいのちのパンです。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者はどんなときにも、決して渇くことはありません。

6:36 しかし、あなたがたはわたしを見ながら信じようとしないと、わたしはあなたがたに言いました。

6:37 父がわたしにお与えになる者はみな、わたしのところに来ます。そしてわたしのところに来る者を、わたしは決して捨てません。

6:38 わたしが天から下って来たのは、自分のところを行うためではなく、わたしを遣わした方のみところを行うためです。

6:39 わたしを遣わした方のみこころは、わたしに与えてくださったすべての者を、わたしがひとりも失うことなく、ひとりひとりを終わりの日によみがえらせることです。

6:40 事実、わたしの父のみこころは、子を見て信じる者がみな永遠のいのちを持つことです。わたしはその人たちをひとりひとり終わりの日によみがえらせます。」

箴言 3 : 5-6

3:5 心を尽くして【主】に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。

3:6 あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。

はじめに

エペソ 2:8-9 「2:8 あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。 2:9 行いによるものではありません。だれも誇るものがないためです。」

私達はイエス様を信じる信仰によって救われ、そして信仰によってイエス様と一緒に歩むように召されています。先週のメッセージでは、イエス様を肉眼で見ることができないので、御声を聞きながら従って行く、ということをお話しました。聖書ではそれを信仰による歩み方と呼んでいます、今日の箇所に出ている人達はそれが出来ませんでした。イエス様はいくつかの原因、つまり信仰の妨げを指摘しておられますから、私たちは同じ間違いをしないように学ぶことができます。

1. 修行によらない

彼らは自分の行いによって神様の働きをしようとしていましたが、イエス様はそれは信仰によって与えて頂くものだと言いました。

6:26 イエスは答えて言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。あなたがたがわたしを捜しているのは、しるしを見たからではなく、パンを食べて満腹したからです。

6:27 なくなる食物のためではなく、いつまでも保ち、永遠のいのちに至る食物のために働きなさい。それこそ、人の子があなたがたに与えるものです。この人の子を父すなわち神が認証されたからです。」 6:28 すると彼らはイエスに言った。「私たちは、神のわざを行なうために、何をすべきでしょうか。」 6:29 イエスは答えて言われた。「あなたがたが、神が遣わした者を信じること、それが神のわざです。」

神様の救いと働き方は全て信仰によって与えられます。何故なら、その働き方は唯一、人間を謙虚にさせるものであると同時に、全ての栄光が神様のものになるからです。

もちろん、イエス様はここで、人は働かなくても良いと教えているわけではありません。

テサロニケ第二 3:10 「私たちは、あなたがたのところにいたときにも、働きたくない者は食べるなと命じました。」

これは日本人も使っていることわざです。イエス様はこの世の物の為に生きる生き方を悔い改めて、神の国と神の義をまず求めなさいと教えています。イエス様から信仰を与えられたら、人は初めてこの世の物の為に生きる考え方から解放されます。

ヘブル 13 : 5-6

13:5 金銭を愛する生活をしてはいけません。いま持っているもので満足しなさい。主ご自身がこう言われるのです。「わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない。」

13:6 そこで、私たちは確信に満ちてこう言います。「主は私の助け手です。私は恐れません。人間が、私に対して何ができましよう。」

イエス様が共にいてくださるという約束は神様の備えと直接つながっています。ですから、この世の必要な物について心配することからも開放されます。

コロサイ人3:5 「ですから、地上のからだの諸部分、すなわち、不品行、汚れ、情欲、悪い欲、そしてむさぼりを殺してしまいなさい。このむさぼりが、そのまま偶像礼拝なのです。」

イエス様が与えて下さる信仰は私達の価値観を新しく作り変えて下さいます。信仰によって歩む事が出来るようにして下さいます。

2. 目に見える証拠によらない

ヨハネ6:30 「そこで彼らはイエスに言った。「それでは、私たちが見てあなたを信じるために、しるしとして何をしてくださいますか。どのようなことをなさいますか。」

彼らは前の日にイエス様の素晴らしいしるしを見たのに、また信じる為にしるしを求めています。

「奇跡を見る事によって信仰を持つようになる」ということも、信仰についての人間の典型的な間違いです。

ルカ11:29 「さて、群衆の数がふえて来ると、イエスは話し始められた。「この時代は悪い時代です。しるしを求めているが、ヨナのしるしのほかには、しるしは与えられません。」

神様の導きを確かめる為にしるしを祈り求めるのは問題ありません。ここに出てくる人々はしるしを見ただけではなく、そのしるしに参加して奇跡のパンと魚を食べたにも関わらず、信じるようになりませんでした。そして神様を求めようともしていませんでした。イエス様はそれを悪い事と指摘されたのです。しるしの役割は神様を求めさせるためであり、心を尽くして神様を求めるなら、信仰を恵みの賜物として与えられます。聖書を読むと、奇跡を見て信仰を持つようになったように見える時がありますが、別の箇所にも、信仰は見る事によって来るのではなくてキリストの御言葉を聞く事によって与えられる、とはっきり書いてあります。それには、マジックのように突然始まるのではなくて私たちが実行するという意味も含まれています。

ローマ人10:17 「そのように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。」

ヨハネ20:29 「イエスは彼に言われた。「あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ずに信じる者は幸いです。」

トマスはイエス様を信じていた弟子でしたが、復活を信じられませんでした。イエス様はわざわざ一人の為にその信仰の足りない部分を強めて確信を与えました。イエス様は私達一人一人の為に信仰を与えるだけではなくてその信仰を強めて成長させて下さいます。

聖書を読み始めた時、私もいくら読んでも復活について信じる事ができませんでした。ですが、諦めないで聖書を読み続けて、分かった事を一つ一つ実行して行くと、イエス様の個人的な啓示によって復活の確信を与えられ、それから聖書に出てくる他のしるしも全て信じられるようになりました。

3. 学問的な理解ではない

ヨハネ6:60 「そこで、弟子たちのうちの多くの者が、これを聞いて言った。「これはひどいことばだ。そんなことをだれが聞いておられようか。」

6:65 そしてイエスは言われた。「それだから、わたしはあなたがたに、『父のみこころによるのではないかぎり、だれもわたしのところに来ることはできない。』と言ったのです。」

6:66 こういうわけで、弟子たちのうちの多くの者が離れ去って行き、もはやイエスとともに歩かなかった。

私達は信じる前に全て理解出来るようになりたいと思いますが、神様の働き方は逆の順番です。信じて従ったら、後で理解が与えられます。神様の御言葉の理解は従う事によって開かれるのです。

箴言3:5-6 「心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。3:6 あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。」

主を第一にして全て明け渡す事によって、神様は明白に導き、前進出来る道を作ってくださいます。コリント第一1:22-24.

1:22 「ユダヤ人はしるしを要求し、ギリシヤ人は知恵を追求します。

1:23 しかし、私たちは十字架につけられたキリストを宣べ伝えるのです。ユダヤ人にとってはつま
ずき、異邦人にとっては愚かでしょうが、

1:24 しかし、ユダヤ人であってもギリシヤ人であっても、召された者にとっては、キリストは神の
力、神の知恵なのです。」

Conclusionまとめ

先ほどのコリントの箇所最後の部分には、なぜ神様がこのような働き方をするかについて書いて
あります。

第一コリント1:29-31.

1:29 「これは、神の御前でだれをも誇らせないためです。1:30 しかしあなたがたは、神によってキ
リスト・イエスのうちにあるのです。キリストは、私たちにとって、神の知恵となり、また、義と
聖めと、贖いとになりました。1:31 まさしく、「誇る者は主にあって誇れ。」と書かれていると
おりになるためです。」